

東京

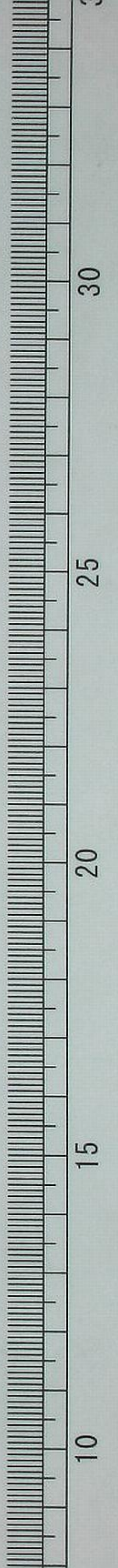
花
考
授

一
号
博
覽
會

服部應賀著

定價五匁

柳田文庫
文庫11
A1909



立 縣
 長野圖書
 昭和 6.6.6
 日八十月七年七治明許官
 24830

文庫11
 A1909

天、人ヲ生ズルニハ必ズ三眼ヲ附屬スレドモ、
 衆ニ兩眼ノミアルヲ知テ、心中ニアル一
 面ニ兩眼ハ、詭ニ目前ノ有形物ヲ見、
 シ面ニ兩眼ハ、詭ニ目前ノ有形物ヲ見、
 外ニ用ナケレドモ、心中ノ一眼ハ、其光リ
 靈妙ニシテ、無窮ノ物理ヲ知モノユヘ
 此一眼ヲ以テ、百物ヲ觀トキ、其真
 理明ナラザルナシ

東京花毛抜一号
 東条留毛の巻毛抜
 あめの尾巻の巻毛を拵

東京花毛抜一号

服部應賀著

夫東京ハ維新コノカタ、皇國第一ノ大都會ト
 ナリテ、海外各國ノ諸人モ寄留シテ、内人ト袖
 ヲアハセ往來スルガユヘ、先般人体ノ見苦シキヲ
 禁ゼラレテ、既ニ肌ヲ又ギ脛ヲ露シ、便所ナラザ
 ルニ、便用スル者ノ罰金ノ令イデ、ケルガ貴賤往
 来スル、姿ハマズ、乱形ニ及ビ、或ハ日本ナラズ

東京花毛抜一号
 東京花毛抜一号

東京花毛抜一号

柳田泉文庫

唐ナラズ西洋ナラズ奇々妙化躰ノウチニ元
大商ノ若者ト呼レシ者モ今ハ立派ニ手代ト
稱シテ美麗ノ衣服ヲ着カサネ襠高袴割
羽織ニイタルマデ皆自國産ノ貴料ヲ絲ヒテ
金時計ヲ懐ニシ「キヤッポ」トヤラフ冠リテ靴ヲ
ハキ口取ツキノ乗馬ニマダガリ或ハ馬車ニ走
ラレテ遊樓ニ登リ藝妓幫間ノ數名ヲ呼ア
ツメテ多財ヲ費ス尊大アレバ又旧幕府ノトキ
大祿ヲトリシ駕馬以上ノ貴族今魂落テ塵

服ヲ恥ズ大道ニサマクノ賤業スル飢渴アリ又
新調ノ大禮服ノ士負アレバ社村ノ旧体アリ
或ハ長大ノ両刀ニ古習ヲ守ル士族アレバ洋服着
タル小使ノ中ニ商家ノ疊へ泥沓ニテ踏上リ猥
ニ和政ヲ罵ルアリ是等ミナ自主自由ヨリ為
トコロナランガ何レヲカ是トシ何レヲカ非トスル処ハ
在ベキガ夫ハ知ズ鬼モ角モ吾一國內ノ人心カク
一致セザル姿ヲ外國人ノ眼ヲモツテ見トキハ甚
ダ醜カルベシ夫ノミナラズ斯ノゴトク各々依頼スル



米の飯の
知在
隣
の
麦飯
と喰へ
と喜悅

州人此有也



已家
見
奇
化
體
と
往
來
の
に

體形ヨリシテ遂ニ爭論ノ發スルヲ無ニモアラシ
○或小学校ニテ童子へ教授スルヲ見ニ其師タル
モノ高坐ニ登リテ西洋ノ事義ヲ和解シタル
板本ヲ斜ニ推テヘテ夫ヲ讀ナガラ大集ノ弟
子ニ諳誦ヲ指南アレドモ願クハ生國住居ノ
教ヲ先ニシテ他國ノ事義ハ後ニシテ可ナラン
殊ニ師ノ諳誦セザルヲ子弟ニアニキサセルハ所
謂道聽而塗説ヨリモ甚シク是教者ノ務ニア
ラザレバ譬女師トイヘドモ遊藝ノ師トチガヒテ

皇國第一ノ教學ナレバ板本ヲ目的ニシテ文字ノミ
ヲ教ズ其事情ヲ先達ニ問テ會得シ已マツ諳誦
ヲ遂テノウヘニ子弟ニ諳誦ヲオシユルヲ是ヲ閑
明ノ教授トイフベシ
○或人氏神ノ御名ノ五文字ヲ掛物ニセントテ懇
意ノ書家ヘタノミシガ延日ヲ促スニ酒ノ切手ヲ
持參シケレバ速坐ニ頼主ニ墨ヲスラセテスラク
ト手輕ク認メクレシユヘ其謝禮ヲ問ケレバ懇意
ニマカセテ五百匹ヲ受ルヨシ爾レバ大明神ノ大ノ一

字モ百匹ニアタルベシコシ 懇意コンイナラズバ二百匹アタカケニモ當ル掛
物ナレバ是コシヲカケテイノラ 祈キタバ究テタウダ 廣大ノ利益サツカヲ授ル
ベキガ方一靈レイゲン驗ナキトキハ童子ニ書セタルガ
ハルカニ貴シ都テ金ヲ貪ル合手ニハ愚者ホド
ヨキモノハナシ
○此頃府下ノ區々ニ諸藝ノ見世物ノ場所
アリ何モ表ノ構へ嚴重ナル板圍ハ三井小野
組ノ田ニモ肩ヲナラベ忽チ舞臺モ補理ヒリテ
其小屋棧敷等永日ノ風雨ニサラサレテ縄ヒ

クサリテ破損ニ及ベドモ何日トイフ閑業ノ少汰モナシ
又ツノ中ニ表構ト官許何藝某興行場トシルシタル
榜杭ボウガイバカリヲ建テ數日タテドモ小屋サへ建ズ空地
トシテ置バ自然其空地ニ金蔓モ生ベキガ春夏ニ
カケテハ金蔓ヨリ先へ草ノ蔓ノハビコルガユへ是
等ヲ目論者ハ先其地ニ金蔓ノ慥ニ生ルヲ見
サダメ夫ヨリ官許ヲ蒙バ居多ノ費モナク又
官許ノ榜杭モ捨札ノ如クニハナルマジキモノヲ
の過日商家ノ神葬祭アリ其行粧アタカモ貴

竹葉

當時家作文房具を
饒る書家画師

數多あまどゆ

大道不跳びて

砂を以て土上

詩歌女画の曲書まる

砂文字先生不の妙工を



當時衣服を饒る
客不媚を賣はける
藝人數多あれど
破扇一本あて
路巷小立



ハケ長先生 ほんの辨舌と見ん

族^{ヅク}ニヒトシク馬^バ車^{シャ}四五輛^{レウ}ノ見^ミ送^{オクリ}モアリテ見^{ケン}物^{ブツ}モ
又^{オモテ}夥^{シク}アリ寺^ジ外^{ガイ}ニマデ折^{オリ}拵^{ジメ}ノ辨^{ベン}當^{タウ}尅^{カク}木^キノ
葉^ハノ散^{チリ}タルガ如^{ゴト}シ昔^{コト}青^{アヲ}砥^ト左^サ右^ユ門^{カド}藤^{フジ}綱^{ツナ}源^{ゲン}家^ケノ
佛^{ブツ}事^ジ供^ク養^{ヤウ}ニ祐^{ユク}福^{フク}ノ僧^{ソウ}徒^トニ多^タ財^{サイ}ヲ施^セ行^{ヤウ}セラレシ
ヲ小^コ荷^ニ駄^ダ馬^{ウマ}ノ川^{カハ}中^{ナカ}へ尿^{ユリ}シタルニ譬^{タトヘ}シトハ反^{カバ}リテ此^{コノ}
祭^{サイ}日^{ジツ}ニハ佛^{ブツ}徒^トノ一^{イチ}ハシラズ社^{シヤ}人^{ジン}ヲヨビ究^{キウ}迫^{バク}ノ備^{ヨウ}夫^フ
ノ大^{タイ}勢^{セイ}糧^{リヤウ}錢^{セン}ノ過^{クワ}分^{ブン}ナルニヤ歸^キ路^ロニイタリテ般^{ハン}
若^{ニキ}湯^{タウ}ノ名^ナヲ神^シ酒^{キウ}ト謠^{ウタヒ}テ猩^{シウ}々^{ウウ}猿^{サル}田^ダ彦^{ヒコ}ノ面^{オモテ}
ゴトキ者^{オホ}多^タク見^ミヘタリ

○神^{カミ}ハ貴^キキモノ、限^{カギリ}ナルニ何^{ナニ}故^{ユエ}ニ貴^キ族^{ゾク}ニ縁^{エン}ウス
ク賤^{イヤシキモノ}者^{モノ}ニ縁^{エン}厚^{アツキ}ヤ其^{ソノ}仔^コ細^{サイ}ハ。マズ神^{シヤ}社^{シャ}ノ祭^{サイ}禮^{レイ}
ナルニ社^{シヤ}人^{ジン}其^{ソノ}業^{ノウサ}ヲ司^{ツカサ}ドラズ都^{スベ}テ賤^{シヨク}業^{ノウサ}体^{テイ}者^{モノ}
寄^{ヨリ}合^{アヒ}テ我^{ワカ}儘^マニ祭^{サイ}事^ジノ仕^シ組^{クミ}ヲ入^イ止^トッノ入^イ費^ヒノ
拂^{ハラヒ}方^{カタ}ヲ又^{オモテ}我^{ワカ}儘^マニ氏^{ウヂ}子^コ中^{ナカ}ヨリ取^{トリ}アツメ已^{オシ}等^{トウ}
カ酒^{シユ}食^{シキ}ニ充^{アテ}レハ神^{シヤ}祭^{サイ}ニハアテテ是^{コレ}人^{ジン}祭^{サイ}ナリ又
遷^{セン}坐^ザノ出^デ迎^{ムカヒ}或^{オモ}ハ奉^{ホウ}納^{ナク}ノ額^{ガク}面^{メン}提^テ灯^{チン}造^{ツクリ}物^{モノ}多^タ
クハ鳶^{トビ}者^{モノ}淨^{ジユウ}瑠^ル理^リ語^ゴリ三^{サン}味^ミ線^{セン}ヒキ藝^{ゲイ}妓^キ拵^{ジユウ}
女^メ歌^カ舞^{マヒ}技^キ者^{モノ}等^{トウ}ニアリテ貴^キ族^{ゾク}大^{ダイ}商^{ショウ}ノ名^ナヲ見^ミ

ナケレバ是ヲ以テ神ハ名聞ノ昇禮ヲ納受
賜フカノ否ヲ夫々ノ社人ニ是ヲ問

○淺草ナル米屋ノ息子十一才ノ時ニ室町一

丁目ノ商家大鐘氏へ奉公ニユキテ今年廿一年

余ニナリ無病ニテ肥太リ算讀書モ商業ニ可

也ニ足トイフ又或士族ニ同年ノ息子アリ是ハ

五箇年前ヨリ或学校へ月々五圓余ノ学費

ニテ入校セシガ不情ニヤ今日マデニ何一習ヒ

遂シ業ハナケレドモ此学費ヲ五年積ルバ九三百圓

ニ滿コノ学費ヲ又米屋ノ息子ニ積リミレバ十一年

凡六百六十圓ニ充ル爾ルヲ米屋ノ子ハ一錢モ費サズ

幼年ヨリ衣服ノ仕着ニアツカリ算筆商業ノ道ヲ

覺テ全体堅固ノ身トナリシ忝ナキヲ思へハ斯ノ

ゴトキ商家ハ無費ノ大学校トイフベシサレバ此兩子

ノ為躰ヲ見テ世間一般ノ息子達諸藝ノ執昔古

ノ懈怠ヲ慎ミテ勉勵セヨ又奉公スル者ハ主家ノ為

ニスルニアラズ我一生ノ生活ヲ授ル修行ナリト辛苦ヲ忍

ビテ正直律義ニ勤譬へ年季アケテ一家ヲナストモ主

家ノ難有ヲ生涯ハスルベカラズ

○又或商家ノ悴今年十三年余ニナレドモ其親愚蒙

ナレバ未家ニ置テ候ベク候ニ松昔古ヲ成シムレバ算筆ハ

勿論使ハシリノ用便サヘ足ザルニ朝ハ寢次第ニ子カシ

夜ハ寢シダイニ子カシ我々勝手ニ大食ヲサセケルガエ

顔色青々ト疲労シテ三日ニアゲズ腹薬スル身ヲモ顧ズ

毎日買喰ノミスルアリ斯ノ如ク姑媳ニ愛子ヲ捨ル親

チ此外ニイクラモアバ何卒市中ニ親学校ノ設モアリタシ

東京花毛抜一号 終



正服部應賀新著作表題

當世利口娘

二号

虫類大議論上下

日本女教師

正多限智恵の秤 三号

權兵衛種蒔論

洋学吉切雀

新製鬼美断語

同二号 太郎兵衛水掛論

近世のきれ墓

天上大珍事

同三号 孫兵衛活計論

放言深山鳥

金庫三代記 全三冊

市の虎狩

みそと全男

驕人びのくさ

ニヤアチウ談

和談三才圖笑 全三冊

東京花毛抜 五冊

畑水練

豊年五穀祭 三

青樓半化通 全三冊

轉ぬ前の杖

大蛇託新文鬼談 三

小社說中發兌書林

小傳馬町三丁目

山崎屋清七

大傳馬町三丁目

丸屋正五郎

東

神田須田町

高木和助

神田通新石町

紀伊國屋徳藏

人形町通新兼物町

上州屋重藏

京

濱町三丁目五番地

星野松藏

東西國元町五番地

鈴木勘二郎

大門通浪花町

鶴屋喜右衛門